



「えのきぞの」の新たな出発点となる、新屋敷の店構えがようやく見えて来た。内装工事もほぼ完成し、後は電照看板や電話などの工事が完了すれば、9月3日に向けて一気にジャンプしそうである。

本日は、「えのきぞの」の前を流れる大井手川をそぞろ歩き、川面を飛び交うトンボと戯れ、井手の対岸から新店舗工事の進捗状況を眺めていた。とても、熊本市内の中心近くにあるとは思えぬほど、静かである。店舗前の道は車の往来はさほど多くなく、周囲には1時間100円の有料駐車場が数カ所あるようだ。

さて、90年近くの歴史と伝統を誇る「日本料理 ENOKIZONO」が、「えのきぞの」として新屋敷で生まれ変わる。正直なところ、いくら仕事と言えども、その瞬間に携わることができるのが大変嬉しくもあり、他人事ではないように胸がワクワク、ドキドキしている次第。

因みに、市内中心部からのアクセスを再確認する為に、車で熊本ホテルキャッスルから国道3号線（藤崎宮前）に出て、明午橋を渡り、大井手川沿いにある「えのきぞの」まで10分も掛からなかった。思ったよりも近かった。

©「えのきぞの」（2018年8月13日情報）

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1丁目9-19 濫觴77A（9月3日開店予定）

電話番号：096-211-5525

